

令和元年度花巻市石鳥谷地域協議会第1回会議 会議録

【日 時】 令和元年5月23日（木）午後3時30分～午後5時00分

【場 所】 石鳥谷総合支所 3階 大会議室

【出席者】 出席委員：11名

伊藤浩司委員、高橋庄一委員、岩舘仁委員、熊谷秀夫委員、
八重樫康治委員、藤澤信悦委員、佐藤芳彰委員、高橋公男委員、
似内英悦委員、鎌田愛子委員、板垣武美委員

欠席委員：4名

藤原けい子委員、鈴木淳一委員、伊藤直樹委員、大竹佐久子委員
担当者及び事務局（石鳥谷総合支所）：9名

八重樫総合支所長、藤原地域振興課長、中村市民サービス課長、
八重樫地域支援監、晴山地域振興課長補佐、阿部同課長補佐、
伊藤地域づくり係長、菊池産業係長、菅原主任

【意見聴取】

道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画（案）について

【その他】

【傍 聴】

会議を傍聴した者 0人

※ 会議での発言等は別紙顛末のとおり

※ 会議における配布資料は以下のとおり

資料

- ・道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画（案）に係るパブリックコメントの結果について
- ・道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画（案）

1 開会

(藤原地域振興課長)

それでは、ただいまから令和元年度花巻市石鳥谷地域協議会第1回会議を開会いたします。

初めに本日の会議には藤原けい子委員、鈴木淳一委員、伊藤直樹委員、大竹佐久子委員からそれぞれ出席できない旨の御連絡がございましたのでお知らせいたします。

委員の半数以上が出席しておりますので、花巻市地域自治区設置条例第9条第2項の規定により、会議の成立要件を満たしていることを御報告申し上げます。

続きまして次第の2に進みます。似内会長から御挨拶をお願いいたします。

2 会長挨拶

(似内英悦会長)

令和元年でございます。どうもまだなじみがないのですが、令和になりました。1回目の会議ということでございます。

今日は道の駅「石鳥谷」施設再編ということで、前回いろいろな意見が出ましたが、いずれ本県の第1号の道の駅ということであれば、当時出来た頃は、一躍注目を集めたわけですが、今になってみれば他の道の駅が立派になってくるし施設も充実してるため、何か見劣りしてきたなと思ってたわけなんですけど、それに呼応する形というわけではないでしょうが、国自体も動いてくれるということは非常にありがたいと思っております。

是非、これはものにしていきたいと思いますし、当時いろんな施設をこれも造るかあれも造るかある程度構想を練った形ではなかったのかなという反省も若干無きにしてもあらずという感じがいたしております。

今回は、その道の駅がぜひ立派な施設になるよう、皆さんから英知を出していただきたいと思っております。特に、皆さんには資料を事前にお渡ししたわけですが、本当にこの道の駅の役割は段々大切になってきているようでございまして、人が集まるだけではなくある程度防災面についても考慮しなければならないということになれば、本当に頼もしい施設になってもらえばいいなという感じがいたしております。

道の駅は全国に1,000箇所以上あるようでございますが、高速道路を走っていますとサービスエリアですかパーキングエリアですか、あの施設も随分いろんなものが入ってるんだなあつくづく思いますが、あのぐらいまででなくとも、本当にそれなりの施設というものを造り上げていきたいと思っております。

開会にあたりまして、御挨拶とさせていただきます。終わります。

3 意見聴取

(藤原地域振興課長)

ありがとうございました。それでは、次第の「3 意見聴取」に進みます。

ここからは、花巻市地域自治区設置条例第9条第3項の規定によりまして、会長に議長として進行をお願いいたします。なお、発言する際には係の者がマイクをお持ちしますので、記録の関係上マイクを御利用願います。

それでは、会長よろしくをお願いいたします。

(似内英悦会長)

それでは、次第の3意見聴取、道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画(案)について意見をお聞きするということになります。

今回で意見聴取については最後ですね。取りまとめ答申ということではないのですが、取りまとめまではこぎつけたいと思いますので、皆様そのつもりでよろしくをお願いいたします。

最初に説明をお願いいたします。

資料に基づき説明（説明者：菊池産業係長）

(似内英悦会長)

ありがとうございました。

菊池係長さんからはパブリックコメント等が出されたものについて、こういう意見が出された、それについて市の考え方としてはこうですというところまで御説明をいただきました。

以上を含めまして、全体的に御意見・御質問を頂戴したいと思います。併せて取りまとめたいと思いますので、よろしくお願ひします。

(板垣武美委員)

パブリックコメントに関して、いくつかお尋ねします。

No. 4の整備コンセプトに関して意見があったわけですが、その意見に対する市の考え方で、現在道の駅石鳥谷の愛称が南部杜氏の里ですと、書かれてるわけですが、私の文章の読み方がちょっと浅いかもしれませんが、地域協議会の中でも南部杜氏の里づくり構想とか南部杜氏の里づくりとかっていうフレーズがあったわけですが、そういった場合の意味合いと、ここで用いている道の駅の石鳥谷の愛称が南部杜氏の里だというのが、ちょっと読み方によっては、南部杜氏の里っていうのは道の駅及びその周辺に限定されるような印象を持つわけです。

そこら辺について、市というか総合支所的にもう少しこう分かり易く書いていただく

わけにはいきませんか。

まず一つ目はそういう質問と意見です。

(似内英悦会長)

いかがですか。どうぞ。

(八重樫総合支所長)

板垣委員の御質問にお答えさせていただきます。

南部杜氏の里というのは道の駅の愛称、これはこれで事実でございまして、現地に行きますとシンボル塔に「道の駅・石鳥谷南部杜氏の里」と記載され、国の方もそういう認知をしているということでございます。

一方、旧石鳥谷町時代から南部杜氏の里づくりという、その構想なり取り組みについては、道の駅のエリアだけに限定せず、例えば、消防屯所を建てる場合に、ナマコ壁風の屯所を南寺林の消防団の屯所ですとか、石鳥谷駅の地下道の入り口もそうですし、駅舎もナマコ壁風にしたとか、いわゆる石鳥谷は南部杜氏の故郷ですよというシンボルを基に、旧石鳥谷町が南部杜氏の里だということをモットーにして、いろんな建物に反映したり取り組みをしたということですので、一概に道の駅エリアだけを南部杜氏の里ということではなくて、広い意味では旧石鳥谷町のエリアは従来から南部杜氏の里石鳥谷ということやってきたのだろうと、そのように私達は理解しております。

(板垣武美委員)

基本構想・基本計画の20ページに今支所長のお話しされたようなことが、問題意識として書かれているわけです。南部杜氏の里の認知度の低下とありまして、石鳥谷全体が南部杜氏の里であることを感じられなくなってきていると書かれておりまして、そういった文脈で今回は道の駅及びその周辺をリニューアルするという事業なわけですが、ここで言うことじゃないかもしれませんが、石鳥谷全体が南部杜氏の里であることを感じられるような取り組みは、今後も継続して行われていくと理解をいたしました。

その上で2点目は、最後のNo. 6ですけれども、産直の体制についてのご意見ですが、関係者と今後の販売方法あるいは運営方法のあり方について検討して参るとありますけれども、産直も指定管理施設ですよ。

私もちょっと調べましたが、この指定期間が平成で言うと平成32年3月31日までです。従って、来年の3月末で、5年間の指定期間が終了するわけですし、その際に、これは公募とかそういうのではなく指定だと思いましたが、まだ5年間、この産直施設を指定管理施設として継続していくのかどうかということを知りたいんです。

現在の産直は、酒匠館に包含されるような、一体化するような整備方針だったと思う

のですけれども、そこら辺の兼ね合いも含めて、今後といってもそのすぐ来年の3月末にはその指定期間が確実に終了することになりますので、今後の方向性というものが、もし、今おわかりになるのであればお伺いしたいです。

(似内英悦会長)

どうぞ。

(八重樫石鳥谷総合支所長)

施設の指定管理につきましては、板垣委員お話いただきましたとおり、来年3月31日が現時点での指定管理期間ということで、あと1年弱で今の期間が満了するということとなります。

従いまして、次の施設の管理をどのようにするかということは、まさにこれから具体的に検討していくということになりまして、現時点でその方向性については、こうだということはまだ定めておりませんが、まず検討していきますということが1点。

それから指定管理につきましては、大方の市の施設が5年あるいは10年という指定管理の形態になっておりますけれども、そのあり方につきまして、今回の道の駅の再編の構想・計画でもって進めていくということになれば、当然運営形態についても、これからまさに検討していくわけがございますので、その検討の段階を踏まえながら、5年の期間ということは難しいのだろうなと思っておりますので、まずその辺も含めて、あまり時間があるものではございませんけれども、検討していくということでございます。

(板垣武美委員)

No. 3の長文に渡る御意見ですけれども、パークゴルフ場について言及されております。このパークゴルフ場に対する私の問題意識やあり方等が、かなり近い御意見ということで興味深く読まさせていただきました。

パークゴルフ場は、結局市の考え方としては、休憩スペースを多く確保していきたいと考えておりますとありますが、多く確保していきたいと考えている休憩スペースの一つとなるものか、あるいはパークゴルフ場には手をかけないで、そのほかの休憩スペースを多く確保していくものか。これはどちらになりますか。

(菊池産業係長)

お答えいたします。休憩についてということですが、あえて定義づけをするならば、中でも外でもということですが、考えていきますと、考えているのはまず外の広場を活用して、出来ればベンチがあったりとか、ちょっとジェラード食べながら座るスペースもなかなかないような感じに現地はなっておりますので、当然外にもあるいは中の方にも、椅子があったり休憩できる場所があればいいかなと思っております。情報提供機能

を担う部分でも、今ふれあい情報館の中にも座ったりするところがあるわけですが、恐らくそういった情報提供機能の中にも座ったりするところができると思いますので、いずれ中にも外にも、休憩できる場所は展開していきたいというふうに思っております。

また、現在においてもパークゴルフ場に東屋がございまして、結構ジェラート食べながら座っている御家族や若い方々がいらっしゃいます。ゴルフ場自体は、自由に散策いただいで結構な場所になっておりますので、今もやっぱり緑に触れて使っていただければと思っておりますし、今後についても記載のとおり、パークゴルフ場を使って本当にイベントをいろいろ検討させていただきたいと書かせていただきましたので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

(板垣武美委員)

さっきここに来る途中に見てきましたが、もう少しやっぱり手を入れたほうがいいのかなと。あえて暗くしているのかわかりませんが、日射を防ぐために、もう少しここに書かれているとおり、芝生を備えた公園というのはなかなかありませんので、その意味で使い勝手があるのかなと思ひますので、御検討いただければなと思ひます。

個人的な考え方を申し上げますが、今グランピングっていうのがじわじわと流行するということで、ちょっと洒落たキャンプなそうですけども、そういうことにも活用ができる可能性があるのではないかなと思ひますし、その関連でコインシャワーの設置については、今回の施設再編計画には含まないと明言されてますけれども、道の駅は災害時にはその防災機能発現するというくだりが、計画書6ページにあったと思ひますが、そういった部分も含めてコインシャワーの設置の提言はなかなか検討に値するものじゃないかなと読まさせていただきましたので、今回の計画には含まなくても、将来的に防災機能面で活用が見込まれるような気がいたしますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

(似内英悦会長)

今後の事ということで、聞いていただければと思ひます。

他に、八重樫委員さん。

(八重樫康治委員)

道の駅の機能として、やはり使い勝手がいいトイレとか、休憩出来るとか、駐車出来るとか、買い物出来るとかというようなことが1番大きい必要なことなのかなというふうに思ひます。

ただこれにもありますように、施設のコンセプトというふうにするかということで、どのぐらい集客につながるかというのは非常に疑問には思ひます。

例えば、前沢牛だとか平泉だとかいろんな施設によって、売り出しているところもあるわけですが。今の時代というのは、あまりそのようなことについて、そうなのだから行ってみようということよりも、むしろドライブの途中で立ち寄るといような感じが強いかなという気はします。

今回の意見を求めたパブリックコメントの中で、4つめの整備コンセプトについての意見で、ここに日本酒文化の発信と駅内配置の再構築によるいつでも行きたい交流拠点の形成とあるが、これは幻想にすぎないとこの人は言っていますけれども、道の駅第1号として造られた時点ではですね、石鳥谷には酒屋さんがいくつかあって、そして品評会もやったりして、いろんなことでやはり石鳥谷は酒造りの里だという自負があったのかもしれませんが、この間に酒屋さんが1社しかなくなってしまうたり、あるいは隣の紫波町の酒が非常に今人気が出たりですね、いろいろ酒をめぐる情勢というのは大きく変わってるような気がします。

また、南部杜氏伝承館については、なかなかそこを見に来るとい人は、全体のアンケートの中でもほとんどない状態になってるのかなというような気がします。

何を言いたいのかという、やはりこういう形でコンセプトを散らすのであれば、地元だけが私たちは老舗だよというみたいなことを主張してもですね、なかなか理解が得られないということで、魅力を打ち出していく内容のものにしていかないと、あまり魅力のある道の駅にならないのではないかなということで、石鳥谷を飛び越えて、紫波とか盛岡とか岩手県の酒屋さんなんかもありますが、こういう計画の中に入れて一緒に御知恵を出し合って道の駅はこういうことなんだということを出していくべきなのではないかなという気がします。

やっぱり日本酒というのは、今の時代はその地域その地のものだけ売ればいっていいことじゃないような気がする。

その意味で、他とも少し連携をとりながら、本当に魅力のある道の駅、酒をテーマにした道の駅にしていくために、どうすればいいかといったことを今後検討の中にぜひ加えていただきたいというのが意見でございます。以上です。

(似内英悦会長)

いかがですか。何かコメントございますか。

(八重樫総合支所長)

八重樫委員の御意見ありがとうございます。

整備コンセプトについて、4番の御意見に対しての市の考え方については、先ほど菊池係長が説明したとおりでございます。それについて今回の構想計画の文言を修正するというには考えておらないわけでございますけれども、確かに酒文化というような場合に、やはり石鳥谷は南部杜氏伝承の地ということで、石鳥谷を含む花巻市内にも

たくさんの杜氏さんがいて、そして紫波にも盛岡にも杜氏さんがいるわけですが、そうして総称として南部杜氏と、そして杜氏さんたちの事務所が杜氏会館として石鳥谷の道の駅の一角にあるということをごさいますから、やはり発祥の地だということをお広くアピールするということはもちろん、石鳥谷でつくるお酒だけではなくて、南部杜氏が全国各地に行きそれぞれ選りすぐりのお酒を造って持ってきて下さると、全国でも経済ルートに乗せてくださっているということですから、石鳥谷はそういう地域だということをお発信していく基地になるんだらうというふうにお思っております。

従いまして、伝承館そのものについては曳家をして位置を変えた上で、伝承館の中ではこれまでの見るということだけではなくて、試飲という形で杜氏さんたちが丹精込めて造っていただいたお酒を味わえると、そして、これだというものを買っただけというような、伝承館そのものの機能についても、今回の構想・計画にありますとおり、機能アップしていきたいというような考え方でございます。構想・計画についてはこれで決定ということをお考えているわけでございますけれども、今後実際にハード整備、それからランニングの部分でどうしていくかということについては、さらに具体的に検討していくことになるとお考えているところでございます。

(似内英悦会長)

ありがとうございました。

今八重樫委員さんおっしゃったとおり、今岩手日報で日曜版に南部杜氏のお関係のことが載っており、この辺の地域がいわゆる近江商人が来て清酒(すみざけ)を造ってそれが好評で、その時の石鳥谷も一つであるが、紫波あるいは盛岡も同じように造っていたとすれば、紫波・盛岡からもいろんな資料とかですわお酒も集めて試飲出来るようにすればいいんじゃないかなということという感じがいたしました。

いずれ、私どもが独占するっていうのではなく、道の駅石鳥谷・南部杜氏の里という名称がある以上、ここに来た人はこの辺がそうなのだと思っ、紫波でもあり、盛岡で酒屋さんがあり花巻でもあるのだな、酒を買って帰ろうかっていうような形になってもらえればいいなということになるんじゃないかなと思っます。

これは施設とはまた違う技術的な運営方法でしょうから。その辺は今後の検討課題にしてもらえればいいなということだと思っます。

他ございませんか。はい、伊藤委員さん。

(伊藤浩司委員)

この道の駅の議題というのは、今回最後ということでお前回の質問と非常に似てるのですけれども、インフラ整備っていうのは非常に優れていてですね、かなり御検討されてると思うのですけれども、ちょっと八重樫さんと同じ面からアプローチしたいと思うのですけど、道の駅っていうのは、今駅長さんとかいらっしやるんですか。また、駅長さ

んというのはどのように選ばれておりますか。

(菊池産業係長)

道の駅の石鳥谷の現駅長は、酒匠館の店長が勤めております。駅長につきましては、まず駅長がこういう人でなければならないという一つの答えはなくて、様々ございます。

例えば、道の駅「石鳥谷」みたいに、指定管理者の職員がなっているところもございますし、形態も様々です。常にフルタイムで来ている駅長さんもいれば、いわゆる非常勤的な形で、時間が限られたそういう駅長さんだと運営全般をマネジメントすることが中心の駅長さんだと思いますけれども、そんなふうに一般論ですがさまざまな駅長さんがいらっしゃいます。

(伊藤浩司委員)

ありがとうございます。

道の駅には事業者、個人事業者を含めて何社入ってますか。

(菊池産業係長)

指定管理者が石鳥谷観光物産ということで、石鳥谷観光物産が酒匠館と、南部杜氏伝承館の指定管理業務を請け負っております。産直については、農産物直売会が請け負っております。また、りんどう亭については、石鳥谷観光物産と覚書を締結してるテナント的な形で入っております。

(伊藤浩司委員)

こういったものをつくるときに、インフラ整備をする考え方ですけども、根本から変える方法もありますが、これはかなり制約がありますので、その事業者を変えずにそのまま継続です。それは仕方がない話で今まで世話になってますから。そういう方法をとるならば、さっき駅長さんが酒匠館と言いましたが、法人個人事業主は当然自分の組織を優先に考えるわけです。ですから、駅長さんっていうのは、道の駅全体で当然方向もいろいろあるんでしょうけれども、道の駅全体を考えて、各事業所に意見を言える人間じゃなければ駅長にならない。形だけと思います。

ですから、前回言いましたように、運用面で非常に大事だと思うんですよ。例えば、パブリックコメントで食堂利用が少ない点については、駐車場とかそういったことを書いてますけども、ぶっちゃけて言えば、おいしいものがあればですね結構集まるんですよ。そういうのが、ここには一切ないじゃないですか。つまり、各事業所に全部お任せなんです。新しいインフラやりますから整備しますからどうぞ頑張ってくれだけですよ。しかし、そこで中立的な駅長さんがいると、もう少し何かメニュー考えてくれとかそういうことをアドバイスするじゃないですか。今そういう人間がいないじゃないです

か。産直も「だあすこ」入れるわけにいかないでしょうから、今の産直ってというのは品目や価格、品質も「だあすこ」に負けるでしょ。要するに20年、30年前作ったメンバーがそのまま来てみんな高齢者ですよ。そうすると、なかなか産直に來れないと思うが、メンバーを交代しないで、この事業主がやるわけでしょ。

そうすると、きちんと意見を言う人間が居なければ、インフラ整備しても上手くいかないと思いますので、是非御検討いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

(似内英悦会長)

はい、支所長さん。

(八重樫総合支所長)

伊藤委員の御意見理解いたしました。ハードについて市も一緒になってやっていくということはその通りですけれども、まさにこれから検討を進めていかなければならないのはランニングの部分でございますので、その辺については手法も含めて現在検討しているところでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(似内英悦会長)

今の伊藤委員さんが言いましたとおり、産直でもパブリックコメントで意見が出てましたね、生産するほうだけに俺達は専念させてくれと。

「社の蔵」を運営するのについては、どっかでやってくれませんかかっていうような意見が出てたと思ひましたが、まさにそのとおりだと思ひます。いろいろ検討のほどお願ひしたいと思ひます。

他にございませんか。はい、鎌田委員さん。

(鎌田愛子委員)

大分前から出ていることで、資料とかにも出てますが、A4版の基本計画の中の、何回も見ているページなのですけども、第3章の整備コンセプトと改修の基本方針で地域の方とかにワークショップでいろいろ御意見をいただいているのですが、これを読むと本当にこういうふうになってくれればいいなって思うことがいっぱいあって、これを一つでも実現させていただきたいなと思ひます。

先ほどから南部杜氏の里も何となくちょっと薄くなってきたかなっていう御意見もわかりますが、杜氏さんたちの高齢化も進んで自分の父は杜氏ではないけど酒造りに以前は行ったわけですが、杜氏さんたちも地元のほうに居て、何か自分の知識とかを皆さんに御披露できればなって思うのを考えていて、杜氏さんの顔が見える仕組みづくりっていうので、やっぱりこういうのがあればいいなと思ひます。やっぱり、酒造りの伝承館みたいなどころでは、酒造用具などを使って体験させたり、樽の大きさを体感出来る

ように、中に入ってみたりとかそのようないろいろな工夫をされているところをちょっとテレビで見たものですから、そのようなのもちょっとやってみてもいいのかなって思いました。あと3月にお話ししました、地域の皆さんを巻き込むというか、地域の人たちも道の駅に行っているいろいろ集える触れ合いのできる場になってくれればとっても楽しくていいなっていうことをお話ししましたが、本当に新しくなるこの計画を見て実現してほしいと思います。

それには自分たちも一生懸命になって協力しなきゃいけないなと思いますけれども、まず地域情報の一環として、道の駅を四季折々の風情のある道の駅にさせていただきたいなと思います。観光客もいらっしゃるっていうか、途中で寄ることにはなると思うのですけれども、トイレタイムで道の駅に寄ることにもなるかと思いますが、石鳥谷の春なら八日市のつるし雛飾りがあるから、それを2月ごろには告知するためにちょっと飾ってみたりするスペースがあったり、あと夏には花火大会について、音を交えた効果のあるようなコマーシャルをしてみたり、秋には秋まつりですね。石鳥谷の山車って本当に立派な山車で、私は大好きだしお囃子もすごく好きなので、ああいうふうなのを上手くミニチュアみたいなのを作って置いてみたりとかをしていただければなと思いますし、冬は、たろし滝の氷柱の測定なども結構何十年とやっているところなので、そのような事柄を発信していけば、地域の人がそこによって「今度3月にあれがあるね、花火大会も大正橋であるから行ってみねばだめだね」とか、観光客の中でも、もしかしたら「もう1回ちょっと見てみたいなこれな」という、何かひとつの誘い、広告をすればいいのかなってちょっと思いました。

それから、石鳥谷でも最近工房がありまして、菓子工房やパン工房もあります。ルンビニーさんでも結構作られてますし、パンも有名なところが出てきたり、あと食べ物じゃなくて作品として、個人で作っていらっしゃる方もありまして、石鳥谷じゃなくて花巻に行けばあるよ、あそこに行けばここに行けばあるよっていうのはわかるんですけど。実際なんとなく道の駅に行けば、ひとつでもふたつでもあの人の作品あるよとか、あそこの工房の団子もあるし、あそこの「きりせんしょ」もあるとか、何かその自慢の伝承料理のコーナーを置いていただければ、作る方にとっては大変かもしれませんが、何となく、お客としては何か楽しみの一つになるのかなと思っておりますので、その辺もこれからそういう関係者の人たちとの話し合いもあるかと思いますが、どんどんそういう方たちに声かけていっていただきたいなと思います。

(似内英悦会長)

御意見でございました。何かコメントございますか。いいですか。

いずれ、鎌田委員さんがおっしゃったのは、道の駅っていうところから、石鳥谷のいろんなものを情報発信できるようなものがあればいいんじゃないかということではないかなと思います。こういう季節ごとのイベントはこういうのがありますよ。あるいは

田んぼアートがありますよ、田んぼアートを見たついでに新堀の米田くんも見ますよ。そういうのを道の駅からですね、訪れた人たちに教えてあげる。そうすれば、この石鳥谷っていうところ花巻市を理解する一つになるのではないかなと思っております。是非、これは施設とは関係はないかもしれませんが、運営面ということで本当に施設が出来ました後はこれでいいでしょうじゃなく、出来たら後は今度は運営面が大切になってくると思いますので、是非聞いただけではなく、実行するように御検討いただければと思います。

はい、支所長さん。

(八重樫総合支所長)

ありがとうございました。鎌田委員さんからたくさんアイデアを出していただきましたし、似内会長さんから総括していただいたわけでございますけれども、冒頭鎌田さんのお話にありましたように、こういった良いことがいっぱい考えられるので、ひとつでも実現していただきたいということなのだろうと理解いたしました。

いずれ出来ること出来ないこと、そして、市だけでやることではなくてやはり地域の石鳥谷の人たち、あるいは広く花巻の市民の方々の参加、あるいは市域を越えての参加というようなこともあるのだろうと思いますので、どこまでできるかは今明言できませんけれども、これから具体化していく中で、参考にさせていただきたいというふうに思います。ありがとうございます。

(似内英悦会長)

岩館委員さん。

(岩館仁委員)

今回のこの整備計画には入ってないのですけれども、石鳥谷の農業伝承館がいつもぼつんと一つだけ離れてお客さんもあまり入ってないように思うのだけれども、農業っていうのは酒造りの米作りですから、この南部杜氏の里とは本当に大変切っても切れない深い仲、縁があると思う。だから、この農業伝承館の方にも人が回遊するようなことを考えていただきたいな、ということです。

それから、確認ですけれども 20 ページの図と 31 ページの計画図を見て、杜の蔵と食堂のりんどう亭の方は撤去するのでしょうかっていうのが一つお聞きしたいこと。

それから、前回の3月の協議会で出された意見というのも、今日の意見と同じように取り上げて、まとめの中に入れていただくっていうことでよろしいんですね。例えば、前回ソフト関係をもっと充実してくれとか、あと予算をやっぱり明示すべきだというような意見も出てるんで、前回の意見ももちろん今日と同じようにちゃんと取り上げてい

ただきたいという要望です。

(似内英悦会長)

回答を求めたいと思います。

(八重樫総合支所長)

農業伝承館については、今回の基本構想計画の中のエリアには入っていない施設でありますけれども、岩館委員さんがおっしゃったように、そこまで回遊してというようなことの意味で理解いたしました。

現在南部杜氏の里、いわゆる道の駅エリアにある伝承館、そして歴史民俗資料館、それから農業伝承館の施設を回遊するようなチケットがあるのですが、なかなかそれが利用されておられないという状況もありますので、今後どのようにしていくかについては検討しなければならないと思っております。今のままですと回遊できるような感じではない。実際には、生涯学習の関係で機織りの方々が機織りの機械を置いているいろいろな生涯学習活動していると理解しておりますので、むしろ生涯学習会館の分館的な施設というふうにも使われてるんじゃないかなと私なりには思っております。更に、道路も渡りますので、関連する施設、周辺施設ではあるけれども、その辺の使い方については考えなきゃいけないのだろうなというふうに思っておりますが、直接回遊するようなことの実策というものは、難しいのではないかなというのが私の感想でございます。

それから、建物の活用についてりんどう亭の小さい方の食堂については、先程パブリックコメントの時に菊池係長から御説明しましたように、小さいほうの食堂については、食堂機能を持たせないで、建物を酒匠館のいわゆる物販のほうの機能を持たせるという形の中で検討していて、酒匠館とりんどう亭の小さい方の建物は同じ建物ですので、繋げて使うようなイメージで考えておりますが、具体的にはこれからということになります。従って、小さい方のりんどう亭の食堂を解体するということは考えておりません。

それから「杜の蔵」については、あれは一つの独立した建物になっておりますので、その活用についてもまだ具体的にはなっておりませんので、活用すべきなのか、あるいは解体した方が駐車場等、あるいは駐車場と建物の間のスペースとして使い勝手がいいのかということについては、考えていかなきゃならないなと思います。従いまして、杜の蔵の建物自体については、解体しないということは明言出来ないと思っております。解体するしないも含めて検討するという考え方でございます。

それから、ソフト面の充実とか予算の明示についてでございますけれども、今回の基本構想・計画については前回皆様からも御意見がございました。ただ、予算特に予算の明示については、いわゆるこの構想を進めるに当たっての予算規模については、国の方からどれくらいという話も出てないですし、市のほうでも具体的な試算というのは現時点ではないわけでございますので、予算の明示まではこの今回の構想・計画にはできな

いと思っております。それから、ソフト面の充実についても、先程各委員さんからも御指摘ございましたように、運営の方法について、これから具体的に関係者の方々との相談とかに入るわけでございますので、その辺の手法も含めてこれから検討していくわけでございますから、書きぶりについては、この内容でまずスタートしていきたいというのが私どもの考え方でございます。

(似内英悦会長)

ほかにございませんか。

私からですが、ナマコ壁がなくなるということになれば、生涯学習会館から道を横断して、道の駅に行くわけですよ。あの辺りについて、考えていると思いますが、今の御時世ですのでどっかに横断歩道をつくっておけば、責任が上手く逃れるような感じはします。今はナマコ壁がある関係で、ここから入るのだからってみんなあそこを渡ってるんですが、壁がなくなれば、どこからも渡ってくるということで、横断歩道はそれほどお金かかるものではないので考えておけばいいのかなって感じがします。

(藤原地域振興課長)

ナマコ壁を撤去するというのは、国道4号から道の駅に入ってくる時に、国の駐車場及び奥の方の市の施設に入るところ、道路を分断してるところの壁について撤去を今考えているということでございまして、生涯学習会館のところの市道沿いについては、今のところ撤去ということはありません。

(似内英悦会長)

失礼しました。他にございませんか。

大体5時になってきておりますので、それぞれ締め形の形でいってよろしいでしょうか。意見が尽くされたというわけではございませんが、ここで一応地域協議会としては、現在のこの基本構想・基本計画(案)については、了とするということで取りまとめさせていただきます。それでよろしゅうございますか。

(異議なしの声)

ただ施設を造った後、いろいろ運営については意見が出されました。どうか、私共の意見につきましても運営の時には大いに反映させていただければ幸いですと思っております。

それでは以上で、意見聴取、道の駅石鳥谷施設再編基本構想・基本計画(案)についてはこれで閉めさせていただきます。

4 その他

(似内英悦会長)

4番目のその他に入ります。委員さん方から何かございますか。
なければの総合支所の方からございますか。

(藤原地域振興課長)

はい。1点、お知らせがございます。次回の地域協議会についての予定でございますけれども、開催の依頼が来ている案件が一つございまして、建設部から国土利用計画花巻市計画につきまして、これは諮問になりますけれども、依頼がございます。7月2日火曜日午前10時から会議を開催する予定でございます。

改めて後日文書でお知らせ通知いたしますので、よろしく申し上げます。
市からは以上です。

5 閉会

(似内英悦会長)

はい。5時という時間になりましたので、今年度の第1回目の会議は終了いたします。

なお、私開会のときに、八重樫支所長さんを新しくお迎えしたということをお話ししないで大変失礼しました。これからはどうぞ私共地域協議会につきましては、何とかよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上をもちまして、第1回会議は終了いたします。ありがとうございました。